

介護事業所で働く皆さん！リモート会議してませんか？

UTSUGI 特別編 TAKATSUKI

空木編集部員が働く事業所では、こんな工夫をしていました！

コロナ過で、「在宅ワーク」や「時短勤務」など、様々な仕事の「やり方」が増えました。緊急事態宣言発令以降、恐らく最も取り入れられたものが、「リモート（オンライン）会議」でしょう。元々は、「非接触」であること、「密」を避けることからよく使われるようになりましたが、現在では、効率よく会議を進めるためのツールとして、多用されるようになりました。しかし、IT会社の社員ならいざしらず、介護事業所で働く私たち皆がITに強いわけではありません！

そんな今も中々リモートできない方々に向け、今回は我々空木編集部のリモート会議の様子や、なんとリモートツールの使い方までご紹介させていただきます。

ZOOM をインストールする

- 1 スマフォアプリをダウンロードする
※ iPhone の場合
App Store
※ Android の場合
play ストア
- 2 検索バーに「Zoom」または「ズーム」と入力する
※ iPhone の場合
※ Android の場合
検索バーに「Zoom」または「ズーム」と入力する
- 3 「Zoom Cloud Meetings」と書かれているものを選ぶ
（よく似たアプリのアイコンも注意!!）
- 4 インストールが終わったら
ホーム画面にアプリのアイコンが表示されるのでインストール完了です

ZOOM に参加する

- 1 「Zoom」のアイコンをタップします
- 2 「参加」ボタンをタップします
※ iPhone の場合 ※ Android の場合
- 3 ID と名前を入力し、「参加」ボタンをタップします
ミーティング ID
ミーティング ID を入力
会議室名を入力
中村 貴子
参加
ID、名前を入力して「参加」ボタンをタップ
- 4 ミーティングパスワードを入力します
ミーティングパスワードを入力して「参加」ボタンをタップ
- 5 「パスワードで参加」を選択します
パスワードで参加
パスワードを入力して「参加」ボタンをタップ
- 6 接続されるまでしばらく待ちます
zoom 選択
ミーティング ID を入力して「参加」ボタンをタップ
- 7 iPhone の場合
「Zoom」アプリを起動し、ミーティング ID を入力して「参加」ボタンをタップ
- 8 左下のメニューを右にスワイプして「参加」ボタンをタップします
自分の音がオフになる
自分の音がオンになる
自分の音がオフになる
自分の音がオンになる
自分の音がオフになる
自分の音がオンになる

PC・スマホさえあれば誰でも繋がれる

空木編集部員 ZOOM 会議の様子

人と人との「つながり」が中々持てない状況ですが、少しでも顔を見せ合い話し合う場が増えれば嬉しいですね。

COVID-19

いま高槻介護を取り巻く現在

ぜひお試しください！

編集後記

新年明けましておめでとうございます。2020年は、地球規模の未曾有の事態になり、改めて、事業所の繋がりが重要だと感じる1年でした。2021年は、この困難をみんなで乗り越えていけるように更なる連携と協力を深め、広めていきたいと思います。今年も、空木、広報部ともによりよくお願いします。 広報部 中村あ

高槻市介護保険事業者協議会ホームページにアクセスしてみてください！！

協議会には入ったけど具体的にどんな活動をしているのかわからない... 部会など参加してみたいけどどんなものがあるか知りたいという方は→のQRコードからHPにアクセスしてみてください。

へのお問い合わせは
072-676-9518
高槻市介護保険事業者協議会
事務局まで
社会福祉法人高槻市社会福祉事業団
在宅サービス課内

怖いのは新型コロナウイルスだけじゃない！
手洗い・うがいは忘れずに！！
高槻市介護保険事業者協議会

空木
Vol. 12

Q: 勤務体制で工夫された事がありますか？

- A 時短勤務、在宅勤務、直行直帰、時差出勤等
- A 昼休憩時間の変更・時差で休憩。
- A ミーティングの回数・時間を縮小し効率化を図る。
- A デスクワーク職員については土日祝日を含めて分散して出勤。
- A 集合研修をオンラインに切り替えた。
- A 電車などの移動リスクを軽減した。

Q: 消毒方法について。以前と変更された点があれば具体的にご記入ください。

- A 1時間毎に手に触れる所の消毒ができるようにアラームを設定。
- A 就業前後の個々のPC・電話・机等手の触れる箇所・環境整備の消毒を欠かさず行った。
- A 職員1人ひとりに手指消毒用ボトルを配布、訪問時に持ち歩きようを携帯。
- A 訪問後の手洗い・アルコール消毒 事務所内の常時換気
- A 事務所への出入り時の手洗いの徹底、消毒は各々こまめにする。
- A 送迎後は車中の清掃。昼食後は施設内の手すりを消毒。
- A 食堂のテーブルにパーテーションを設置し、食後消毒する。入所者の通院等からの帰荘時の手指消毒を徹底。ハンドドライヤーの使用停止等。

- A 訪問時間の短縮に不満を訴えられたケースがあった。
- A コロナ感染の恐怖から送迎車に乗ることを断られた。
- A 認知症重度の方が利用回数が減ったことへの家族の負担感の訴えがあった。↓回数を増やして対応。
- A 心配な方は利用を控えられたが、利用される方の中で認知症の方がマスクをはずしてしまふことに対して不安を訴えることがあった。
- A 入所者ご家族への面会制限連絡で「致し方ない」と答えるご家族が殆どであったが、一部ご利用者家族からは苦情が相次いだ。代替案としてリモートやテレビ電話を提案したが、本人が理解しないと断って却下。対応に苦慮した。

高槻介護を取り巻く現在

新型コロナウイルスが高槻の介護サービス事業者に与えた影響
それは、未知への「脅威」だけではなく、様々な「知恵」と「工夫」がありました

Q. コロナ禍のなか取り組まれた事
工夫された事を教えてください。

回答事業者数（事業別）

訪問系	通所系	入所系
20	17	10

- A 緊急事態宣言翌日にショートステイご利用者に利用自粛要請の手紙を配布。4月5月中旬までに2割程度の利用自粛があった。
- A 家族との面会制限、ボランティアの活動休止、クラブ活動中止。入浴・血圧測定・行事等は3密を防止しながら行っている。
- A 緊急事態宣言中は訪問中止。新規受け入れ・体験利用・振替利用も見合わせた。
- A 利用者の希望によりサービス内容の変更中止をおこなった。
- A 電話でのモニタリング
- A 利用自粛の呼びかけ、利用回数の調整、訪問での対応。
- A モニタリング・サ担当を電話等に。本人・家族と訪問に関する合意書を交わし意向確認をした。
- A 本人の意向も聞き、訪問に不安を感じる方の訪問中止や回数の調整
- A サービス提供について、制限・縮小・変更等行われませんでしたか？

Q: サービス提供制限等の対応についてご利用者様・ご家族様から何か意見はありましたか？

- A 感染予防をもっと厳しくしてほしい等
- A マタニティ中のスタッフから出勤が怖いとの申し出あり1人でも濃厚接触者があれば休んでもらうことで話をした。
- A 勤務を続けることへの怖さを訴えられる。現状の感染状況と感染予防施策について検討を一緒にこなった。

Q: サービス提供制限等の事業所の対応について職員より何か意見はありましたか？

- A 研修の機会が減った。会議が思うようにできず情報共有に工夫を要した。
- A 陽性者が出た時の対応について、どこまでシュミレーションをしておくべきか。
- A マスクや使い捨て手袋等の価格高騰と入手が困難なこと。
- A コロナ禍による外出自粛などによる利用者数の減少。経営を継続していくことが難しい状態。
- A 入所者の方が外に出られず、ストレスがかかってしまっている。
- A 面会について。「面会を止めてほしい」「面会をなんとか継続して欲しい」と両極端なご意見があり対応に困った。

Q: その他困ったことなどご記入ください。

- A 研修の機会が減った。会議が思うようにできず情報共有に工夫を要した。
- A 陽性者が出た時の対応について、どこまでシュミレーションをしておくべきか。
- A マスクや使い捨て手袋等の価格高騰と入手が困難なこと。

Q: 新しい生活様式を踏まえて、今後継続して取り組むこと、取り組もうとしていることはありますか？

- A オンラインを活用した面会や、施設見学等。
- A 出勤前の検温等体調確認。事業所はもちろん部署単位での宴会の禁止。Web会議の推奨。
- A 感染予防の徹底・施設内のソーシャルディスタンス（コロナが落ち着くまで）今後集団体操の内容などが検討事項になると考えられる。
- A 送迎時に利用者の検温をする